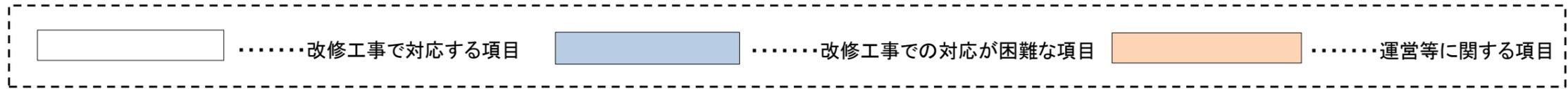


アクセシビリティ・ワークショップにおけるご意見への対応状況(既存施設)



項目	ご意見	改修工事における対応
1 トイレ		
機能分散	個別機能を備えた便房の機能分散が必要 機能分散が最終的にどうなったかを示してほしい	「オストメイト洗浄装置」や「おむつ交換台」等の機能を男子トイレ、女子トイレ等に分散して配置し、車いす対応トイレの車いす利用者の優先利用に配慮します。
車いすスペースを有しない男女共用トイレ	異性介助が行える車いすスペースを有しない男女共用トイレを設置してほしい	スペースが確保できないため、設置困難です。(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
	異性介助が行える車いすスペースを有しない男女共用トイレの設置が困難な場合、車いす対応トイレ内に、カーテンや折り畳み式簡易椅子を設置してほしい 男女共用トイレは異性介助以外にもジェンダーの観点からのニーズがある。スペースの関係で設置困難であったとしても、こうしたニーズが無くなるわけではないので、利用者が使いやすいトイレ(運用を含む)としてほしい。	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
手すり付トイレ	手すり付トイレの複数配置	複数の便房に手すりを設置します。
個室トイレのドア鍵の仕様	トイレの扉やドア鍵が使用中かどうか分かりにくいので、見て分かるようにしてほしい 個室トイレの施錠状態の表示が小さい	常開の扉(使用していない時は扉が開いている)に改修することを基本とするとともに、施錠状態をできる限りわかりやすく表示します。
トイレ内設備のコントラスト	トイレは壁・便器・手すりの全てが白くて見にくい為、色を分けてコントラストをつけてほしい	トイレの手すりやおむつ交換台は壁との色のコントラストに配慮して選定します。
音声案内(トイレ)	視覚障害者が男性用・女性用トイレを間違わないよう音声ガイドをつけてほしい トイレそばによれば分かる程度の音量で、常時流れるように音声案内をつけてほしい 車いす対応トイレ内に便座の位置等を案内する音声案内をつけてほしい	男性用・女性用トイレと車いす対応トイレが隣接しているため間違いやすい配置となっている箇所については、音声案内を行います。 車いす対応トイレの入口に触知図を設置し便座の位置等を案内するとともに、トイレ内ボタンの配置がJIS規格に適合していない箇所については、適合改修を行います。
車いす対応トイレの数	車いす対応トイレの数が最終的にどうなったかを示してほしい	機能分散と車いす対応トイレの数については別紙参照
2 観客席(車いす使用者用スペース、付加アメニティ席含む)		
付加アメニティ席	対面での手話や盲ろう者対応ができる付加アメニティ座席の仕様にしてほしい	付加アメニティ席は前面や側方に広いスペースを確保するため、対面での手話対応が可能です。
手がかりの設置	観客席階段には手がかりの設置をすべき	構造的に設置可能な箇所については、手がかりを設置します。
注意喚起の点状ブロックの設置	観客席の階段の最初と最後には点字ブロックを敷設すべき	観客席の階段において、不足箇所に設置します。
付加アメニティ席の設置位置	付加アメニティ座席は、通路からアクセスしやすい場所へ設置してほしい	付加アメニティ座席はコンコースからフラットに移動できる位置に設置します。
段鼻(観客席)	階段の段鼻が識別できないので、視認性を向上させるべき	段鼻にコントラストをつけて、視認性を向上させます。
点字	席番号は見やすく点字でも表示	今後の検討事項とします。
(東京体育館へのご意見)	東京体育館は、車いす席の垂直分散が難しいようだが、車いす席の席数が不足した場合にはアリーナに仮設席の設置を	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)

項目	ご意見	改修工事における対応
3 情報保障		
実況中継の受信	視覚障害者にも試合の状況が分かるよう、ラジオ等で競技の実況中継を屋内競技場で受信できる設備の整備	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
	大型スクリーンが複数ある場合、1台は聴覚障害者向けの情報保障用としての活用 大型スクリーンに手話通訳を写す場合の通訳専用の防音ブース等の確保	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
サイン	サイン計画について、ピクトグラムだけでなく文字の視認性も考慮する	ピクトグラムを中心とし、文字の視認性も考慮してサイン改修を行います。
	サインの文字の大きさに関しては、ガイドラインに規定されている最低基準のサイズで考えるのではなく、障害の方にも配慮した大きさを設定すべき	WSにおける意見を踏まえ、今後詳細を検討していきます。
	サインの大きさに関しては、近くでみるものと遠くでみるものと、それぞれ見やすいよう計画をしてほしい	サインの大きさに関しては、近くでみるものと遠くでみるものと、それぞれ見やすいよう、視認距離に応じた適切なサイズのサインを設置していきます。
	全体的にサインを大きくし、目的地を見つけやすい位置に掲示すべき	目的地を見つけやすいよう適切に計画します。
(東京体育館へのご意見)	座席の位置が分かりやすいサイン計画を作ってほしい	座席の位置がわかりやすいよう、サインを改修します。
	機能分散の内容を分かりやすく伝えてほしい。トイレ便房には備わっている機能を表示すべき。	トイレや便房の出入口に、機能表示を行います。
	磁気ループがどこで有効かということを知りやすく表示してほしい	磁気ループが備付られている施設では、どこで有効かということを知りやすく表示するように検討します
	消防庁にて非常時のサインの在り方についてガイドラインの検討が行われている。非常時のサインについて、消防庁の検討結果をぜひ取り入れてほしい。	消防庁の規定改正に基づき、適正に非常時のサイン表示を行います。
	メインアリーナ入口までの視覚障害者誘導用ブロックを敷設してほしい	東京体育館はメインアリーナ、サブアリーナ、プール棟からなる複合施設であり、それぞれの棟においてイベントが開催されるため、誘導用ブロックは、人的対応が可能な受付窓口へ誘導するよう敷設しています。施設内はイベントごとに運用が異なる為、イベント主催者により誘導手法については検討するものとし、恒設での誘導ブロックの敷設はいたしません。(イベント時の誘導手法については関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
4 エレベーター		
エレベーターの閉じ込め対策	聴覚障害者のエレベーター閉じ込め対策として、外部と連絡が取れるようにしてほしい。 EVについては、ガラス扉にする等、閉じ込められた時でも外から分かる仕様にしてほしい	新設するエレベーターについては、閉じ込め対策として呼び出しボタンとインジケーター(表示盤)の設置を行うとともに、ガラス窓など外部から中の様子が確認できるよう対策を行います。
音声案内(エレベーター)	貫通型のエレベーターは、音声のアナウンスが重要	貫通型のエレベーターは、どちらの扉が開閉するのか認識できる音声アナウンスを設置します。
点字	エレベーター操作盤の点字の配置に配慮してほしい	JIS規格に準拠して適切な点字配置を行います。
(東京体育館・東京辰巳国際水泳場へのご意見)	ペDESTリアンデッキに設置されるEVについて、もう少し奥に設置し、通行人の動線とぶつからないようにすべき※東京辰巳国際水泳場	動線に配慮して、EVの設置位置を変更します。
	観客の出入を分けるのであれば、一方にだけエレベーターがあるのはおかしい。サブアリーナ側へもエレベーター設置を※東京体育館	サブアリーナ側に新しくエレベーターを追加設置することはスペースが無いため、対応が困難です。(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
	今のエレベーターの数、大きさでは混乱が起きかねない※東京体育館	エレベーターを追加設置することはスペース的に困難であるため、スロープを設置することにより、人の出入りを円滑に誘導できるよう対応します。
5 スロープ・階段		
段鼻	階段の段鼻の視認性を重点化する	選手・観客の主要動線上の階段で、コントラストが不足している箇所について、改修します。
注意喚起の点状ブロックの設置	点状ブロックの敷設は横幅全面に引く必要がある	ガイドラインに適合するよう、スロープや階段の横幅全面に敷設します。
点字	手すりの点字表示は、握ったときに触れるところにあり、墨字のガイドと位置が被らないように	手すりの点字表示は握ったときに触れられる適切な位置に設置します。

項目	ご意見	改修工事における対応
(東京体育館へのご意見)	手すり先端部が突出していたり、昇り終わったとき手すりの伸びが不足していると危険 1階から2階へあがる階段への両側手すりの設置	両側への手すりの設置などガイドラインに適合するように改修します。
	西側広場に新設するスロープは、もっと幅を拡幅すべき	新設のスロープはメインエントランス入口への動線に支障しない範囲で最大限拡幅します。
	新設スロープの位置を変えたり、階段1段目ラインを変えるなどし、外構階段踊り場の形状が段により異ならないようにすべき	外構階段は建物の屋根の一部を形成しているため、大幅な形状変更は困難です。(段鼻の視認性を向上させるほか、関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
	変則形状の階段は前の人の背中しか見えない状況では、事故のもととなるため、人の配置をすべき	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
東京体育館外、北側スロープを拡幅すべき	北側スロープの拡幅は全面的に作り直す必要があり、かつ、拡幅に必要なスペースが不足しているため、今回の計画では、スロープを追加設置することにより、対応します。	

6 その他

救護室	どの施設においても各階に救護室を設置	恒常的に救護室を設置することは困難ですが、イベント時に一時的に救護室として利用できる会議室等のスペースはあります。(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
	いざというときのため、救護室には看護師を配置	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
クールダウンスペース	発達・精神・知的障害の方が、クールダウンスペース(ついたてを立て長椅子を2~3脚程度設置等)として休める場所があると良い クールダウンスペースを一般の休憩スペースと兼ねる場合には、パニックを起こした方の利用などを想定して、救護室の看護師と連絡が取れる体制を整えるなど、運用を十分に検討する必要がある。	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
照明	コンコースの照明が暗い。特に段差部は明るくした方が良い 足元照明だけでなく、均一な照明が基本	照度不足の箇所、不均一な箇所は、適正な照度で、出来るだけ均一な照度となるよう照明を設置します。
男女共用更衣室	異性介助を行える男女共用更衣室の実現	スペースが確保できないため、新たに男女共用更衣室を設置することは困難です。(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)
危険物	柱が壁と区別できるように配慮が必要	床の色と壁や柱の視認性の低い箇所には腰壁にコントラストをつけるなど、視認性を向上させます。
(東京体育館へのご意見)	玄関扉の大きなガラス面へ衝突の危険がある	注意喚起・衝突防止措置を講じます。
	通路に点在するRCの独立柱にラバー等の保護材をつけてほしい	主要動線上にあり、衝突の危険性が高い独立柱については、注意喚起・衝突防止措置を講じます。
	東京体育館外、北側スロープの下の階段を通行する人が頭をぶつける可能性があり危険。通さない工夫や注意喚起を	柵など注意喚起・侵入防止措置を講じます。
	2階床スラブと手すりのすき間が危険なため、塞ぐなどの検討をしてほしい	床スラブと手すりのすき間など危険な隙間は塞ぎます。
	2階西側コンコース腰壁上に、ベンチが設置されており立ち上がって階段側に転落したり、足がかりになる可能性があり危険	ベンチが設置されている箇所について、立ち上がって階段側に転落したりすることないように、配置を変更するなど、落下防止措置を講じます。
玄関扉を解放する際には、スタッフを配置するなど急に扉がしまったりしないように	(関係機関へ情報提供を行い、参考意見としての活用を依頼)	

【2020大会の運営等に関するご意見】
セキュリティ検査に際し、長時間の待機等により、障害者の負担にならないよう配慮してほしい。
視覚障害者誘導用ブロックの敷設は基本的に人的対応が常時可能な受付窓口までとしているため、それ以降の案内は基本的に人的支援が必要である。人的支援が必要な場面は、単に会場の入口から座席までの案内だけでなく試合途中におけるトイレへの誘導や試合内容の情報保障など多岐にわたる。中には同伴者でなければ対応が困難な支援もある為、視覚障害者の観戦には同伴者が来場することも想定し、同行援護事業の適用や同伴者の席の配置、入場料等の配慮をしてほしい。
会場内の誘導等に際し、積極的に声掛けするように、警備員やスタッフに対し障害者に対する接遇の研修が必要である。研修については、ハード面での環境整備の限界をどう補うか等、具体的な場面を想定して検討してほしい。
人的サービスは人がいればいいというわけではなく、特別な対応が求められる場所においては専門的な知識を持ったボランティアの配置も検討してほしい。

※ 本資料における「ご意見」は、既存施設について第4回~第6回アクセシビリティ・ワークショップでいただいた内容を記載
 ※ 武蔵野の森総合スポーツプラザについては、既に改修工事を終えているため、第6回で新たにいただいた意見を反映することは出来ないが、「改修工事における対応」の考え方に照らし、不足しているものについては将来の改修工事において対応